

2024年11月の糖尿病センターだより9号で、リアルタイム持続血糖測定器の進化についてご紹介しました。自己血糖測定はもはや“痛くない”“負担の少ない作業”に変貌しつつあるのですが、それでもやはり指先に針を刺し、少量の血液を血糖測定用チップに吸い込ませて血糖値を測定する、いわゆる“SMBG”は決してなくならないと思います。

理由は、リアルタイム持続血糖測定器は、やはり少しハードルが高いからです。我々の施設のように、糖尿病・内分泌患者さんが年間延べ1万人弱もお越しになる糖尿病センターですと、糖尿病内科医師は勿論、糖尿病チーム医療に従事するメディカルスタッフも、リアルタイム持続血糖測定器について熟知しておりますし、導入件数も桁違いに多く、トラブル対応もお手の物です。

ですが一般の開業医さんは、たくさんの病気を診る中で、時々糖尿病に出会う程度だと思います。開業医さんにお聞きすると、「飲み薬の糖尿病治療まではうちでもするけれど、複雑な注射製剤による糖尿病治療まで行くと手が出ないね。血糖測定もSMBGなら何とかできるけれど、リアルタイム持続血糖測定器までは厳しいね。」というご意見を頂戴することが多いです。

SMBGを1日2~3回して、その結果を自己管理ノートにボールペンで書き

込むアナログな作業、
それに対して、リアル
タイム持続血糖測定
器を上腕背側に装着
して、いつでもスマホ
のアプリで血糖値を



前日	朝前	朝後	夕前	夕後	夜前	夜後	食事	運動	血糖値
1	196	251	152		230				
2	220	238	108		210				
3	201	209	222		132				
4	178	217	196		213				
5	199	223	134		208				
6	153	267	309	139	285				
7	181	247	174		160				生理1
8	164	172	163		189				生理2
9	171	195	206		223				生理3
10	217	174	138		173				生理4
11	165	184	231		211				生理5
12	152	165	133		168				生理6
13	175	142	188	93	192				
14	165	132	116		231				
15	136	165	149		196				
16	153	189	121		172				

確認でき、血糖値データをクラウド式血糖解析システムで医療機関と共有する
最先端のリアルタイム持続血糖測定器、その間を埋める存在はないのか？



患者さんが毎日一生懸命書き込んだ血糖値の自己管理ノートを見ながら、主任部長は、なんとか患者さんの

負担を減らしたいと思い続けてきました。そこで…

本日は紹介するのは血糖値データ管理システム“MEQNET SMBG viewer”です患者さん手持ちの血糖自己測定器の中に保存された SMBG データを、医師がノートパソコンに取り出して保存し、SMBG データを表やグラフで視覚化する血糖値データ管理システム（三和化学研究所とアークレイ株式会社が提供）、それが MEQNET SMBG viewer です。

MEQNET SMBG viewer を利用すれば、患者さんは確かに SMBG をしなければいけません、少なくとも自己管理ノートに血糖値をボールペンで書き込む作業は必要なくなります。また、測定した血糖値データを管理して解析し、分かりやすく表やグラフでお示しすると共に、血糖値データをもとに患者さんの糖尿病治療を修正し、より良い血糖コントロールを目指すことが出来ます。

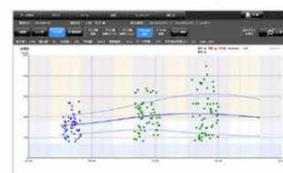
MEQNET SMBG viewerは、SMBGの血糖解析システムです。



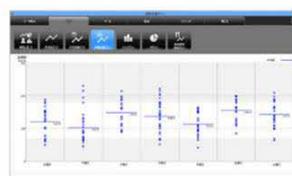
データ表



時系列グラフ



日内変動グラフ



週間変動グラフ



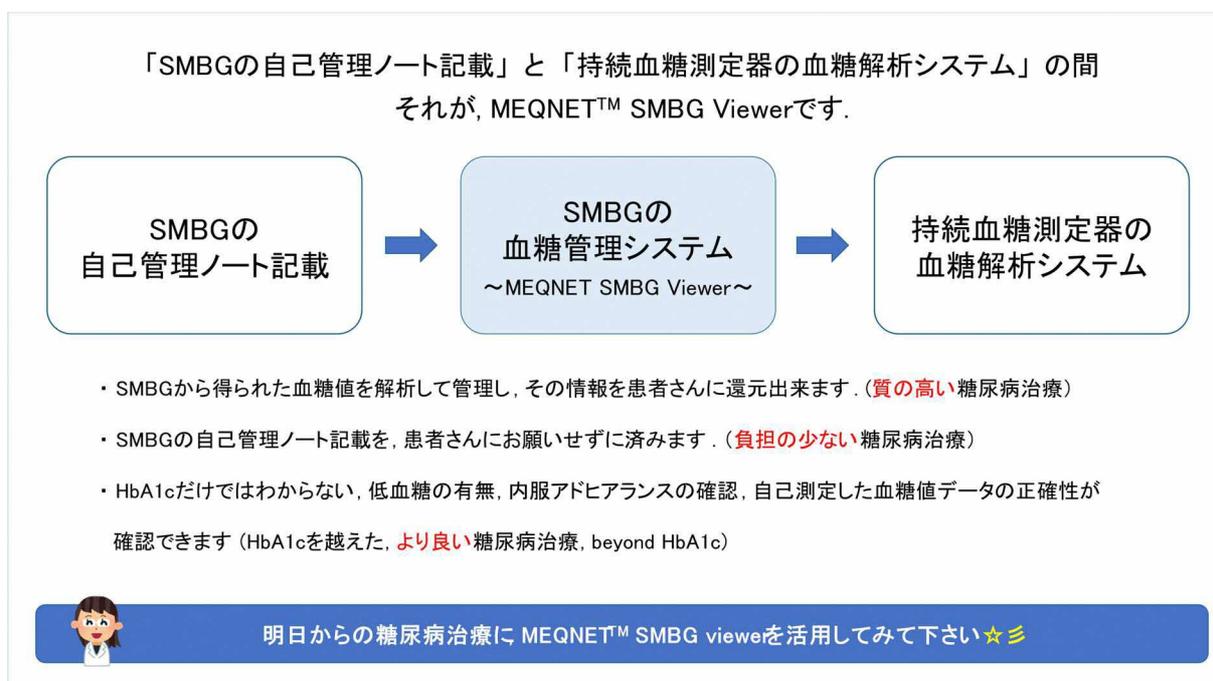
円グラフ

三和化学研究所 公式H.P.より引用

長年SMBGを続けている高齢者糖尿病、週1回のインクレチン関連注射製剤のみの糖尿病治療 (FreeStyle リブレの保険適応がない) では、MEQNET SMBG viewerを活用して血糖データを解析します。

主任部長、患者さんが痛い思いをして一生懸命 SMBG して下さった血糖値を、彼らの血糖コントロールを良くするために最大限活用したいという気持ちが強いんです。そして、そのためには自己管理ノートに記載された数字（血糖値）を何となく眺める、昔ながらのやり方から脱却せねばならないと感じています。

MEQNET SMBG viewer を開業医さんにも知っていただくために、2024 年 10 月 MEQNET SMBG viewer を活用した糖尿病治療についてユーザーインタビュー動画を監修しました（株式会社三和化学研究所；機器・診断薬関連動画「血糖自己測定器から得た血糖値データの管理システム」<https://med.skkn.net.com/movie/diagnostics.html>）。MEQNET SMBG viewer の使い方、適した症例などについて分かりやすくご紹介しております。



様々な血糖測定器と血糖解析システムの進化を 2 回にわたってご紹介してきました。しかしどんなにデバイスが進歩しても、患者さんと医療従事者のコミュニケーションが成り立って初めて生かされます。患者さんと一緒にノートパソコンの画面を見ながら、「今月は夜間低血糖もなく、とても良い血糖コントロール

ルですね！」「もう少し昼食後の血糖値が下がるようにインスリンを増やしましょうか？」などと会話をすることがとても大事です。時代の最先端に行くリアルタイム持続血糖測定器を使って、患者さんと昔ながらの対面診察をする。この急速な糖尿病治療の進化の中で、変えていかねばならないことと、変えずに続けていかねばならないことを、これからもしっかりと見極めていきたいと思います。